



梅花無盡藏上

目錄

傷寒

丁

二應胃

五丁

三癰痛 五丁

四痢病

八丁

五泄瀉

十一

六吐酸 十四

七水腫

十七

八積聚

廿一

九脹滿 廿七

十嘔吐腸鳴及胃

廿一

十黃疸 廿五

十一脚氣 廿八

十二淋瀝

四二

十四霍亂 四五

十五頭痛風元

十六勞瘵

五二

十七中風 五六

十八心氣 五二

十九痔瘡

六八

二十喘急 五七

二三日過す表証^ハ移り用寒皮屑^ハ有^リ余熱^ハ

ナラハ^ハ過^ス表証^ハ移り小便黄^ニナルハ半表半裏^ノ証ナリ

又^ハ熱^ハ裡^ニ入^リ蒸^シ熱^ハ小便赤^ニナルハ半表半裡^ノ

和^ニ解^ス而^テ蓄^ニ有^リ空^ニ其^レナリ

四五^ノ日^ニハ漸^ク裡^ニ入^リ惡寒^ハカ^ニシ^テ惡熱^ハ眼^ニ

汗^ハ出^テ小便黄^ニ大便結^セハ裏熱^ハ心^ニナリ

柴胡湯^ヲ柴胡^ヲ空^ニ有^リナリ

柴胡湯^ヲ柴胡^ヲ同^ニリ^テ吞^スハ^シ此^ノナリ

二日^ニ日^ニ治^メ裡熱^ハナ^リ脈^ハ沈^ニ實^ニナ^リ七八動^ハナ^リ

漢^ノ陽^ノ老^ノ實^ヲ非^ニ空^ニナ^リ

二時^ニ時^ニ大^ニ便通^ニ裡熱^ハナ^リ

傷寒^ハ風^ヲ冷^ニ又^ハ風^ヲ寒^ニナ^リ

汗^ハ出^テ内^ニハ^ハイ^ニナ^リ

又^ハ時^ニ大^ニ便^ニ結^セ身^ハホ^トナ^リ

又^ハ時^ニ大^ニ便^ニ結^セ身^ハホ^トナ^リ

又^ハ時^ニ大^ニ便^ニ結^セ身^ハホ^トナ^リ

又^ハ時^ニ大^ニ便^ニ結^セ身^ハホ^トナ^リ

又^ハ時^ニ大^ニ便^ニ結^セ身^ハホ^トナ^リ

食いせしむるに或は古くはクハツトイフに人ヲ熱クする日也

淫妄ヲイム者モワレシ久ラヤミル人ハ熱クする日也

百病散 虎ヲ引ル 結集ハ 薑ハ 其中ハ 薑ハ 根ハ 葉ハ

薑ハ 升ハ 空ハ 虎ハ 右前等ハ

紫胡湯 一切ハ 紫胡ハ 半反ハ 芍薬ハ 升ハ

麥門冬ハ 空ハ 虎ハ 升ハ 汗アハ 升ハ

三葉丸 細ハ 用南ツカハ 浮心同 紫胡ハ 空ハ

半反ハ 赤子ハ 虎ハ 右九ノ用ナリ

紫胡湯 升ハ 升ハ 胸脇ハ 升ハ 腹ハ 升ハ

小便ハ 痛ハ 升ハ 升ハ 升ハ 升ハ

赤子ハ 升ハ 紫胡ハ 半反ハ 空ハ 人ハ

大紫胡湯 兩張ハ 升ハ 升ハ 升ハ 升ハ

小陽氣湯 大便ハ 升ハ 升ハ 升ハ 升ハ

空ハ 升ハ 升ハ 升ハ 升ハ

黃芩湯 升ハ 升ハ 升ハ 升ハ

赤子ハ 升ハ 升ハ 升ハ 升ハ

赤子ハ 升ハ 升ハ 升ハ 升ハ

部

注傷寒ハ行ナレ患寒脈浮緊頭痛項脊コクヲ發熱ス

葛湯 葛根 升麻 芍薬 甘草

注傷風行ナリ患風脈浮緩ナリ頭痛項脊コクヲ發熱ス

葛湯 葛根 升麻 芍薬 甘草

中風脈長ノカアル患頭痛眩暈身重口不開發熱汗

解肌湯 葛根 麻黄 芍薬 甘草

中風脈浮ノ數胸脇痛ノ耳聾ノ或ハ往來寒熱ノ也

小柴胡湯 柴胡 黄芩 人参 半夏 甘草 生姜

患傷寒ノカアル患頭痛ノカアル患頭痛ノカアル

注脈沉數ノカアル患頭痛ノカアル患頭痛ノカアル

患頭痛ノカアル患頭痛ノカアル患頭痛ノカアル

アキ足ヲ施諸言ナリ物ノクイワナク咽カバキ五日大

健通セシ 大柴胡湯 柴胡 黄芩 芍薬 甘草 枳实 大枣

患頭痛ノカアル患頭痛ノカアル患頭痛ノカアル

注脈沉遲ノカアル患頭痛ノカアル患頭痛ノカアル

患頭痛ノカアル患頭痛ノカアル患頭痛ノカアル

注風寒ノカアル患頭痛ノカアル患頭痛ノカアル

理中湯 人参 白朮 干姜 甘草

注頭痛ノカアル患頭痛ノカアル患頭痛ノカアル

注頭痛ノカアル患頭痛ノカアル患頭痛ノカアル

注頭痛ノカアル患頭痛ノカアル患頭痛ノカアル

注頭痛ノカアル患頭痛ノカアル患頭痛ノカアル

二陰毒陽毒、傷寒ノ口傳

一益元水ノ豆陽毒、用

一白散傷寒全熱、時終用へし方ハ石炭、アリ

一傷寒ノ者ハ脈ノ浮中沉表裡拘ルヘクス脈、力ナクテ

ハ結リ、柴胡湯ニシテ輕熱ヲサス如クナリ用へし時ハ

柴胡ヲモ用へし又ハ玉丹、テ四五日ノミ下ノ者シ

一傷風ノ者ハ脈ニナカラナリハ毛活シ、チアタノテ汗

ヲ去ヘシ汗ナクテ出テモ熱モサナクハ毛活シ柴胡

ノ方ハ表裏黃芩ナリヲ如クナリ用へし

一傷寒ノ裡証ニナリモ脈ヲノ病アリ、其ノ方モ拘ルヘク又

大方ハ熱、アタシテ然カ指出ナリ、如クハ本病ノ前至

ノ方ヲ用ヘシ時ハ、陽ノ病ニシテハ、陰ノ病ニシテ

一陰病ノ方ハ、夏ノ時ハ、辰刻ノ者ハ、秋ノ時ハ、冬ノ時ハ、

二感風ノ方ハ、春ノ時ハ、夏ノ時ハ、秋ノ時ハ、冬ノ時ハ、

風ノ方ハ、春ノ時ハ、夏ノ時ハ、秋ノ時ハ、冬ノ時ハ、

一陽病ノ方ハ、夏ノ時ハ、辰刻ノ者ハ、秋ノ時ハ、冬ノ時ハ、

二感風ノ方ハ、春ノ時ハ、夏ノ時ハ、秋ノ時ハ、冬ノ時ハ、

風ノ方ハ、春ノ時ハ、夏ノ時ハ、秋ノ時ハ、冬ノ時ハ、

一陽病ノ方ハ、夏ノ時ハ、辰刻ノ者ハ、秋ノ時ハ、冬ノ時ハ、

二感風ノ方ハ、春ノ時ハ、夏ノ時ハ、秋ノ時ハ、冬ノ時ハ、

風ノ方ハ、春ノ時ハ、夏ノ時ハ、秋ノ時ハ、冬ノ時ハ、

一陽病ノ方ハ、夏ノ時ハ、辰刻ノ者ハ、秋ノ時ハ、冬ノ時ハ、

二感風ノ方ハ、春ノ時ハ、夏ノ時ハ、秋ノ時ハ、冬ノ時ハ、

風ノ方ハ、春ノ時ハ、夏ノ時ハ、秋ノ時ハ、冬ノ時ハ、

一陽病ノ方ハ、夏ノ時ハ、辰刻ノ者ハ、秋ノ時ハ、冬ノ時ハ、

不感冒ト云ハ只性リ傷寒ナリ皆人ノ引引咳氣ヲ
スルニ由ナリ 治ハハ死法ニチアノメテ汗ヲ出セハ
熱氣サムル跡ナク未証ハ傷寒ノ如ク如キレメ倒テ治シ
一 白散ヲ用テヨシ方ハ別表ニアリ

三 瘧病門

瘧ト傷寒ナシトマキレテ皆見ソコナフ傷寒ハ氣痛發熱
ノ身イタシ 傷寒ク脈セハヤク朝サノスルト云ハ脈ノ動数
ハ同じ物ク瘧ハ先ツヨサムク次第ノ發熱ノ後氣痛ノ咽ナ
アノトシ脈法ノ動数アリ 朝トク脈クシハ動数ミナ退ク
ナカレバ瘧ト云ハ然則氣痛發熱ノ如クツキタレ當座
瘧ト傷寒此定ム一カハスサメテノ輕ヲトシツムヲ病ノ名
コナカムナレ

左ノ脈弦ナツタク實強ナルヲ肝ノ風瘧ト云テ柴胡

清肝湯 柴ハ高根 赤芍 桂人 耳痛
右ノ脈弦ナツタク實強ナルヲ脾ノ食積ト云テ赤芍

大積ト云

清肝湯 赤芍 芍 奴 薩柴 桂人 胃以下
汗ノ多クモナハ汗ノ多クヤクハ治セヨ 實 苦 丹

瘧 入 室 汗ノ多ク出ルヲハ行ヲトムニ 赤芍 室

白木

餘ノ直者ノ治ノ久ク愈スノ夜方行キテ度ヲ内熱を

咽クサハサハ 二 必 肉主 如 白木

行キテリテ血次方、本腹スルナリ内熱サナリ次方

肥子咽クカワキモシマシ

赤白痢、モシ 莫大ノ血 赤木ス 兵部子

本通、モシ十車ナリ 痛アラン 介 名ナリ

久ラナキ痛ハ 梨安ス 本通ナリ 藥後ス行ナキ

リナリナリナリ又ハフルイナリモシ

活套

一 痛ノ病ハ様ナリ先風ノ寒ヨリ起リ又急冷出テ

言レヨリ 起ル物ノ索ナリモヤル気ツルナリモ虫積ナリモ

ヤル様ナリナリ日毎 起ルハ落カスル 同業ナリナリ用テ

一日ニ八落カスルニ日ニ八落カスル 握ニ足アガリナリ

風氣ト云フヤハ浮業ヲ用テ甚後又清解ナリナリト

名ナリ 補業ヲ用テ 風氣ハ二三七日ニサマノ長ヲ用テ

外ハ九ノ種ナリ種ナリ 委スベシ

一 熱シケタハ 葉胡湯ヲ用テ葉ハ傷寒ノナリ

一 熱シケタハ 熱ナリナリナリナリナリナリナリ

一 熱シケタハ 熱ナリナリナリナリナリナリナリ

一 熱シケタハ 熱ナリナリナリナリナリナリナリ

名並用。是冬用。治。

一 霍亂 吐瀉 腹痛 嘔吐 泄瀉 痢疾 霍亂 吐瀉 腹痛 嘔吐 泄瀉 痢疾

董子云：「既腐也，人必棄之。」
在舍，主君宿，耳于主心。右莖，用是食鹽。

漢解渴。一切ノ瘧ノ惡寒ナリ。アノ又并ニ喜也。

日本華蓋堂胡荽考大藏附記

人々を責め用一切の權を以て

一七五父 子子子子同常山封青貴丘市

洋藥 時令 烏毒 右藥用 海參子葉 之 小 日

勝金一十壹
原缺
書
葉
鳥

人多
波海
阿魏
胡科
名丸
常
生
直

又諸縣陽等處

棉壺散一切瘡

龍
平
不
鎮
蓮

イテ三ノノリニ朝

下及牛七入元天目一

酒々々々々

奇

新論續集

世之文苑

名並用。是冬用。治。

一 霍亂 吐瀉 腹痛 嘔吐 泄瀉 痢疾 霍亂 吐瀉 腹痛 嘔吐 泄瀉 痢疾

董子云：「既腐也，人必棄之。」
在舍，主君宿，耳于主心。右莖，用是食鹽。

漢解渴。一切ノ瘧ノ惡寒ナリ。アノ又并ニ喜也。

日本華蓋堂胡荽考大藏附記

人々を責め用一切の權を以て

一七五 父 子 同 常 山 封 青 貴 丘 市 子

洋藥 時令 烏毒 右藥用 海參子葉 之 小 日

勝金一十毫
原缺
青皮
葉
鳥

人多
波浮
阿魏
胡科
名丸
常
生
直
角

又諸縣陽等處

棉壺散一切瘡

龍
平
不
鎮
蓮
子
古
今
一
統

イテ三ノノリニ朝

下及牛七入元天目一

酒々々々々

奇

新論續集

世之文苑



老人虚人小児久痢多しミナ如クナル痢ヲ下しサ
イ痛エナク不食シテ脉或ハ沈伏或ハ弦急ノ大便ワ多クサ
久トセ、ナキ小便所ノニホイヌルハ死ス

食、刺熱ルノ説ハ脾胃ノ弱ナリトシテ飲食ヲ多ク食フ
厥有、アマリ暖メ聞クトモリ化ハ血心ノ血ヲヤフリテ下ル
ナリ同寒暑湿、アタリ熱ニヤアテシ血ヲ下スナリ先
備急、内ヲ用テサフリト下ノ刺テサバテミナシテトメヨ
前ハハ急ニナリハ大熱ハ早シク母ムヘナク又解瀉施ハ
法ハ急ニ清瀉ハ死スナリ

惡食ヲ 位中 痺下リ 苦リ アラハ 浮下ノ サエヲ 用テ後
 茶カ湯カツト 吞モテ サハラク スルヲ 四時ナリ 二痛ノ下ナリ

其根
賣光
黃連
耳ナ
葛根
冬

健脾胃。補氣養血。其功今為蒼紫。

右二用。則常平藥外減也。

一 樹ノ名色赤クコキハナラル
細ムルトセナキノ水ヲ匠ノ
ワルリサキハ心スナリ
下 先サナリ用テタル情ナリ
空

白木葛根 荳蔻 杏仁 桂心 右是ヲ用テハ熱

サヲ痛ノキテ心ヨカルヘシ

一 其後 竹葉 芩 芍 柏 茯苓 車 地 黃 我 朮

無 常 子 圭 心 右是ヲ用レハ血トマルナリ 痛セヨシ

一 版 下 ル タ ナ ト 留 ク ハ 訶 子 芫 朮 車 杏 仁 黃 耆

枳 心 板 木 葛 根 芫 柏 無 常 子 山 茱 皮 阿 膠 艾 葉

右是ヲ煎ソテ其後凡サテ用ヨ

一 痢 ハ 煎 茶 ヲ 入 留 リ 湯 凡 三 升 ヲ シ 去 煎 茶 ヲ 下

テハ版中ナルヲナシ 神仙丹 安中丸 ヲシ

右 胡 地 ノ カ 中 ハ 巴 豆 ヲ 入 テ 霜 スル ナリ 此 茶 ソ 煎

藥 湯 テ 五 粒 斗 ヲ 用 妙 ハ ト マ ル 末 入 人 へ シ 去 ト テ

ハ 飲 茶 ナリ 又 苧 芍 芫 葉 芫 朮 柏 ノ 煎 湯 テ 去

番 セ 版 下 ル ハ 疾 ナリ 安 中 丸 ヲ シ

一 驚 奇

一 所 謹 恭 順 ノ レ ホリ 痛 ハ 大 熱 ナリ 玉 丹 テ 下 大 寒 ノ 煎

茶 肉 圭 子 茶 ヲ 入 テ 藥 汁 テ 室 丹 ヲ 用 ヘシ 痛 ノ カ ス ハ

サ ハ 日 一 度 テ 玉 丹 ヲ カ ツ 室 丹 加 テ 用 ヲ 三 升 凡

サ シ セ 巴 豆 入 ル 下 シ 用 ハ 茶 ス 諸 病 人 へ ア レ

一 天 乙 凡 七 ヲ シ

一 九葉ハ杏巴同 白竜丸ヨシ 杏巴同ハ別録アリ

白竜丸ハ虎大 牽牛子 ユハツ大 紅花 大戟

右九ノ葛ノ粉ヲ衣トス

一 小児ハ痢ニシテ痛者ハ痢ヲ下スヲアリ 大熱ナリ

三葉ハ芒硝ヲ如テ丸ノ用ヨ

一 大人ハ痢者モ大熱ナリ中寒ノ症ハ三葉 芒硝

別本増金散 痢何トモモアリヤル 痢モ此ニ是ヲ痢者モ下 腹痛モ湯ニ

此ニスト知ヘシ 桂心ナキモナキ 枳實ナキモナキ 芍薬ナキモナキ 黄芩ナキモナキ

右九ノ葛ノ粉ヲ衣トス 丸ノ用ヨ

一 小児ハ痢ニシテ痛者ハ痢ヲ下スヲアリ 大熱ナリ

依テサリノ方ナクハ 調中湯 茯苓 木通 赤芍

黄芩 芍薬 枳實 ユハツ大 紅花 大戟

腎虚ハ脾胃ヨリ 痢トク一二度下ノ或ハ夜一便ニ夜

ナキレ 腹中トクノウチスハ 大寒中ノ 赤白大痢 赤白子

白痢ナ 黄芩 芍薬 枳實 ユハツ大 紅花 大戟

以ノ時ハ中ノ下ノ 食食ヲ スルハ小腹痛イノミヤクテ下ニハ

建中湯 茯苓 黄芩 白朮 芍薬 枳實 ユハツ大 紅花 大戟

久ク下リトマニ 何子 芍薬 枳實 ユハツ大 紅花 大戟

及中者ナリ 煩渴ノ 泄瀉ノ 小便アリ 大熱ナリ

清暑湯 茯苓 白朮 芍薬 枳實 ユハツ大 紅花 大戟

清暑湯 茯苓 白朮 芍薬 枳實 ユハツ大 紅花 大戟

清暑湯 茯苓 白朮 芍薬 枳實 ユハツ大 紅花 大戟

清暑湯 茯苓 白朮 芍薬 枳實 ユハツ大 紅花 大戟

清暑湯 茯苓 白朮 芍薬 枳實 ユハツ大 紅花 大戟

白痢 十九日 三葉丸 六中寒ノ葉ナトテ赤痢ノ
如ク然ルト治スベシ又ハ二重ノ大乙丸 白竜丸ナトテ

肉熱ヲサマフヨシ

一 若脾胃ノ虚冷ナルハ肉豆蔻散 増金ニオト用テ又中熱

サマシ藥ヲ用テシ

一 脾胃ノ渾トテ腹夜アケ方、小腹シクト痛ニ二度

下ルヲアリ 大乙丸 熱ナリ 三葉丸 預ニ 枳實ヲ用テ又

大乙丸ナリ

一 腹脹トテ冬ニナリラ上ノアリキ 物ヲ食フハ苦ナリ

治金言アリ サハ大乙丸 三葉丸 類

一 食物消セヌノ其ツ、下ルナリ 是モ熱ナリ 心ノ痛ナリ

物アリシ 室丹 別本室丹ナリ

一 渾腹ノ熱ナリ 芝栢 ナリ

其ツ、右栢ノ 米飲ニ用テ

六味散門

俄、風ヲヒキ寒ニヲカサレツヨク味ヲセハ感冒門ノ 傷ノ全散

ヲ用テ 肺中ノ 邪ニテ 退ケ 蟬熱ヲウケヌ

全散スルナリ 升ノ葛根 貴 葉

全散スルナリ 升ノ葛根 貴 葉

貴 葉

肺中ノ邪ヲシリリクニハ

桑

ワミヨシ

センコ

カハキヲケルヲスルハ

固

古

杏仁

久キ咳ノチチスル声カレ胸クルレク痰涎多ク其ハ肺ノ

元氣ヲ極ヘシ上モフサキト成リ流通シ表裏ノ人ナラズ

腰理ヲ極行クラン行ラトムヘシ

肺ノ人々極ハ固ス者更ヤ就人ナラズ

上モフサキ極ノ者キヲ調ハキヨリキヤラフシ人貴ヤ

表裏ノ自汗盜汗出キタルハ成キ主キ

氣滞リ流通セハ貴ヤ青ヤ生薑ヤ

声カレチハ固ハイキタルハ貴ヤ下ヤ肝葉ヤ

ツヨク虚者ナル人ノ咳ツヨク咳スルハ収金後堂厄

一葉 平文 葉 天中堂ノ葉 五三日レイテ 七日八日

十日斗ハ用リ地胆ヲ久ク用レハ虚損ノ病者ナリ

ナテ諸病ノ咳出スル物ナリ其水病ヲ治ス其ノ中ノ実病

ナシハ桑 ヲウエン センナヲ 如ヘシ 虚証ナラ 杏梗ナラ

持病ノ咳アル人養食生 桑ヲ 望ハ肺愈スヤカセ 替ニ推

ワキヘチチスル者チチスナリ

法云

倣風ヲ引寒ニササシツヨク暖ムルヲシヌル肺ノ花ノ風ヲ引
キ散ル其ノ肺ノ熱ノ氣ヲサソ疾飲ヲ去ルシ膏散ニシ

葉ハナ
莖ミヅウシ
陸皮リキ
舟人フネヲシ
葛根クワダ
中量チュウリヤウ
丁用テイユウ

[illegible]

一胸_二久_三疼_四ヲ_五ナ_六ル_七者_八 吉更_中 欽_冬花_中 全_下

耳中耳壳壳菰菰陳皮陳皮

一 行タラハ 白芍 肉桂 又ハ 方々人 陳皮 けり
生薬 中 不 前 胡 杏 仁 又ハ 杏 ソ ン 也 々 加 減

前胡大葉胡 右煎用 五三日計用 又是久用

六、盛 振 踊 ト ナ リ ア リ 是 六 氣 ヲ 下 ス ナ リ 先 世 僅 ト 日

實
十
八
歳
ヲ
ア
ケ
ル
ナ
リ
室
主
白
反
厚
前
科
時

機ヲ浮スルナリ弁広マワフ尤用ヨ又疾用ガタナリ

血せり疼むハ後、膏療トモ 半支 竿 天南星

本草治葉中
吉梗
乾冬
杏仁
辛白
芥

卷之八

又背三指五分一寸

節年

一 咳嗽新久、風寒冷痛ナリ、回キハ、蟬蛻、桑葉、杏仁、
タリ、新痛ハ、龍活、スハ中熱ノ葉、テアタ、ミラ、
スヘシ、華ヲ大ニ用ヘシ

一 咽喉ハ中寒ノ葉、乾姜、木香ナリ、虫サメア加ヘシ
華ヲ用コ

一 咳嗽ハ肺回、虫サメ、ウヒナリト必エテ華ヲ用ヘシ
一 虛冷ノ婦人咳スル、久ノ後ハ吐血、赤帶、ヤム温葉、
固豆、訶子、加ヘ用テ即咳治、右ノ葉、久ク用テ

一 如某雄英、ニホ、丁子、
ノリ、押合、屏ノチ香、多キ、
ホシ

一 酒ヲ飲テ咳スル、年久キ人アリ、華ヲ用テ治マ

一 咳ヲ治ス、疏葉、陳皮、
七水腫門

初ハ月ノ下ヲリカレ腫ナリ、次第ノ、手足、
及、必ヘ、
高知、
羊、
人、

高知、
羊、
人、

白木 貴 無病子

此薬を用フ時胃ヲ補ヘシ通ナ計ヲ用レハ必中焦虚ナ常
腹腫氣ニ付一兩日過テ一段腹氣サス物又補葉汁用
六中焦、もんツリ合中焦、其マ、滞ナ中下二焦流通
氣ナ多腹滿氣ホスルナリ然則通ナ補葉汁もハカリ
イ用ヘイテ子安ナリ又、脈沉細、身冷、腹氣アツ入
腹氣經入ト知ヘシ

還腫湯

如何実

無病子

朴ノ葉ヲ用ヘシ

多ク六

腫氣アツハ

葉白皮

杖

大子皮

陳皮

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

腹脹

腫氣多ハ

朴白皮

無病子

腹脹

如何

如何

右ク極ノ如減

水腫ヲ治シ

二日三日

一日

補中ノ葉

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

如何

一 加味腎氣丸 腎虛シタルヨシ 附子ニ茯苓ニ澤瀉ニ山茱萸 山萸 車前子 牡丹皮 肉桂 七葉

右丸ノ錢ノ湯ニテ用

一 如意丸 水腫急苦クアラハ是ヲ用下ノ見ヘシ

亮ノ其即子 陸皮 撰本 三枝 干姜 薑遠巴豆

一 脾胃ヲ補ヘシ 干胃 補胃湯ナリナシ足ヨリ腫痛ナリ

一 面ヨリハシテ下ルハナクナリ

一 水腫ナリ面ヨリ氣ツク久心ツクハ下セテ五日三日ニ一度

一 同々ニ補氣ヲ合ハナクハナシ

一 水腫ハ實熱ノ証ニ其故ハ下焦ノ實熱ナリ

依テ水谷ヲ二便ニ通下セサル故 皮肉ノ腫 水カク

面ヨリ腫ハルナリ 脾胃ノ虛冷ト云テ又ノ白本

用テ脾胃ヲ補タラハイヨク不食ノ腫氣ナシニ便通セス

一 痛甚ナリハレ只傷急同 三黃丸丹名凡ナク毎日

ナリ 煎藥ハ大寒ノ藥

一 玉丹ナリ下ノ室丹ノ用ハナクテ要シ 假ニ補

一 玉丹ナリ下ノ室丹ノ用ハナクテ要シ 假ニ補

一 玉丹ナリ下ノ室丹ノ用ハナクテ要シ 假ニ補

用ヘヤラズ

一 丹石丸 有ハ瘰癧ノ在リ

一 白竜丸 ヲ下レシテ 有ハ瘰癧ノ在リ 瘰癧ノ在リ 瘰癧ノ在リ

一 産後瘰癧ノ腫氣ヲスツアリ 是ハ血ノ通リ 冷ナリ 瘰癧ノ在リ

一 諸病久シハ 必腫氣ヲス 皆熱ナリ 宝丹 玉丹 王芩丸

一 必將胃ノ虚冷ヲス 補ベリ 玉丹 王芩丸

一 風症ニテ 依ハ瘰癧ノ如リ 面目腫 瘰癧ノ在リ 是ハ血ノ通

一 風症ニテ 依ハ瘰癧ノ如リ 面目腫 瘰癧ノ在リ 是ハ血ノ通

一 瘰癧ノ在リ 是ハ血ノ通

一 瘰癧ノ在リ 是ハ血ノ通

一 瘰癧ノ在リ 是ハ血ノ通

一 瘰癧ノ在リ 是ハ血ノ通

一 瘰癧ノ在リ 是ハ血ノ通

一 瘰癧ノ在リ 是ハ血ノ通

一 瘰癧ノ在リ 是ハ血ノ通

一 瘰癧ノ在リ 是ハ血ノ通

一 瘰癧ノ在リ 是ハ血ノ通

一 瘰癧ノ在リ 是ハ血ノ通

一 瘰癧ノ在リ 是ハ血ノ通

肺ノ枝葉ノ葉ハ 心後ハ 背脊ノ骨ニ至リ 肝枝ノ葉ハ

脾枝ハ 十一 肺枝ハ 十二 大腸ノ枝 胃枝ハ 十四

一 胆ノ枝ハ 十五 胆ノ枝ハ 十六 胆ノ枝ハ 十七 胆ノ枝ハ 十八

胆ノ枝ハ 十九 胆ノ枝ハ 二十 胆ノ枝ハ 二十一 胆ノ枝ハ 二十二

胆ノ枝ハ 二十三 胆ノ枝ハ 二十四 胆ノ枝ハ 二十五 胆ノ枝ハ 二十六

胆ノ枝ハ 二十七 胆ノ枝ハ 二十八 胆ノ枝ハ 二十九 胆ノ枝ハ 三十

胆ノ枝ハ 三十一 胆ノ枝ハ 三十二 胆ノ枝ハ 三十三 胆ノ枝ハ 三十四

胆ノ枝ハ 三十五 胆ノ枝ハ 三十六 胆ノ枝ハ 三十七 胆ノ枝ハ 三十八

胆ノ枝ハ 三十九 胆ノ枝ハ 四十 胆ノ枝ハ 四十一 胆ノ枝ハ 四十二

胆ノ枝ハ 四十三 胆ノ枝ハ 四十四 胆ノ枝ハ 四十五 胆ノ枝ハ 四十六

胆ノ枝ハ 四十七 胆ノ枝ハ 四十八 胆ノ枝ハ 四十九 胆ノ枝ハ 五十

胆ノ枝ハ 五十一 胆ノ枝ハ 五十二 胆ノ枝ハ 五十三 胆ノ枝ハ 五十四

胆ノ枝ハ 五十五 胆ノ枝ハ 五十六 胆ノ枝ハ 五十七 胆ノ枝ハ 五十八

胆ノ枝ハ 五十九 胆ノ枝ハ 六十 胆ノ枝ハ 六十一 胆ノ枝ハ 六十二

胆ノ枝ハ 六十三 胆ノ枝ハ 六十四 胆ノ枝ハ 六十五 胆ノ枝ハ 六十六

胆ノ枝ハ 六十七 胆ノ枝ハ 六十八 胆ノ枝ハ 六十九 胆ノ枝ハ 七十

胆ノ枝ハ 七十一 胆ノ枝ハ 七十二 胆ノ枝ハ 七十三 胆ノ枝ハ 七十四

胆ノ枝ハ 七十五 胆ノ枝ハ 七十六 胆ノ枝ハ 七十七 胆ノ枝ハ 七十八

胆ノ枝ハ 七十九 胆ノ枝ハ 八十 胆ノ枝ハ 八十一 胆ノ枝ハ 八十二

胆ノ枝ハ 八十三 胆ノ枝ハ 八十四 胆ノ枝ハ 八十五 胆ノ枝ハ 八十六

胆ノ枝ハ 八十七 胆ノ枝ハ 八十八 胆ノ枝ハ 八十九 胆ノ枝ハ 九十

胆ノ枝ハ 九十一 胆ノ枝ハ 九十二 胆ノ枝ハ 九十三 胆ノ枝ハ 九十四

胆ノ枝ハ 九十五 胆ノ枝ハ 九十六 胆ノ枝ハ 九十七 胆ノ枝ハ 九十八

胆ノ枝ハ 九十九 胆ノ枝ハ 一百 胆ノ枝ハ 一百一 胆ノ枝ハ 一百二

白く振、五臓、アム、治セント思ハ、胃ノ、氣ヲ、

すハ、十、十五、一度、中、備、急、同、脾、積、同、

合、下、ハ、業、用、虫、積、牛、食、通、て、未、ト、用、

硬、食物、用、ハ、カ、ス、

上、戸、酒、ラ、多、飲、テ、物、ハ、食、ス、版、中、損、タ、ル、

酒、積、ト、ハ、半、夏、崔、丁、子、青、皮、我、本、牛、

白、本、壳、ナ、ト、用、

一、酒、積、用、丁、子、芫、連、木、香、宿、破、苦、半、桃、仁、

牛、合、我、本、無、大、黄、右、剪、用、麦、蘗、子、神、曲、加、

一、香、リ、一、香、積、ト、ハ、茶、ノ、類、ハ、マ、ウ、タ、ル、ハ、香、人、ノ、

又、兼、ト、巴、豆、ア、イ、リ、マ、セ、バ、豆、ア、ハ、去、テ、本、計、ヲ、細、末、ノ、

九、ノ、細、々、吞、セ、ヨ、脾、積、同、テ、用、テ、ヨ、シ、

肝、積、尤、ア、リ、青、皮、介、白、本、三、棧、シ、ヤ、ル、石、

川、草、ナ、ト、用、

心、積、ハ、物、ア、リ、菴、苓、朴、人、ノ、壳、白、本、木、

三、棧、ハ、右、九、ノ、用、

脾、積、脾、ノ、ホ、ト、リ、ア、リ、烏、乳、ハ、粉、末、

赤、石、脂、小、枳、肉、圭、牛、合、右、九、ノ、用、

肺、積、右、ア、リ、半、夏、呉、茱、更、主、心、ノ、



卷之四

四樓下

卷之四

100

[illegible]

五種散 一 切五種六對 五種六對

出八地處之アヤサ又用へし虫種アリ、其ノ

昔元泰三使十兵中昔皮十丁等

杏仁大 杏仁中 杏仁小 燕窩大 燕窩中 燕窩小 柏木大 柏木中 柏木小 川芎

右瓶先貯メヨシアミサス用ニ何重積ニ奇特ニ

散挂湯一切用費
栽木大木香文無郎子

五ノ右並ノアヲ又凡ハシ

西華集卷之六 寄金九 云 龍本五

楊士弘 忠貞堂 三枝一葉

音梗 本音 白木 朴 山 楓皮 右 此 藥 天 苦 一 刀

東ノ國ニホリ一病

丁卯年

解纒丁子 木香 枳殼 青皮 訶子

三樓
四豆
實
百十
老
天
石
青
日

豐年

五言古詩六首

100

本草綱目卷之四 藥部

一 滋養丸 中寒大寒ノ裏寒ヲ用テヨシ

一 座冷ヨリ起リタル後ナニ云テ將ヨリ温補

白朮ナリヲ用テ温補スルヲアラハイヨク 腹中ノ

積イタミヲ不食スルヲアルヘシ

一 三玉丹 ナ下ノ常ノ空丹ス大九ヲ用テ後中サツシ

タラズ積ハキルヲアルベシ 是後ノ本ヲ治スルヲ

婦人血塊之妙薬 芒硝 大芫 三後

右主ノ奇醋一盞ヲ用テ平煎 煎一盞 大芫次

三後次 芒硝ヲ入テ丸ニナルホト子リヲノテ 白湯

如ク用テ一日ニ三度ヲ用テヨシ

一 五神丸 治スルヲ五丹ヲ用テ下ノサツキ湯

用如北三度下ノ治スルモノアリ

九腹満門

走人ノ腹満スルイハレハ里虚ノ食ヲ消サ子 腸虚スル 依テ

飲食ノ積氣ヲ上下ノ令散流通変中食ヲク人ニタク

故ノ腹満出来スルナリ 胎ハラノ皮ヲツヨクヒワナリヲセハ

大鍼ノ皮ヲナリ 如クナリヲマテス底ハ何モナリ 空虚ナリハ

補神散長湯 貴人 室中 白朮

續茸丸ノ香スヘシ

寛中丸 白朮 人参 茯苓 木香 枳實 如神前書ナリ

葉ヲ油斷ナリ用テフノニ整物ヲツクシテセヨ

脇腹ノ皮ノシカトニツラニハ腹脹大ノヲシテシハ石ノ如

軟カクナセハ痛シ大便結シカチノ小便黄スルハ是ヲ滿

トス寒証ナリ是ヲハ葉ヲホテ中焦ヲ滿テ氣ヲ行ナリ

安胃湯 朴中實 枳實 空 中 氣 結 滯

右分ニテ用テモ大便結セハ五六日一度ノ寛腸丸

ヲ五粒ホテテ吞ビヨ如神治レテ滿空ノ心ノツ

口重シテホテ滿空ナリ又時ニ吞ビヨ

今ノナリ白朮 枳實 茯苓 芍薬 石菖蒲 龍胆 芍薬

ヘシ腹滿ノカチナリ病ヲ治スル葉計ヲ偏ニ用ヘカラス

中焦ノ正氣虚スル依テ腹トフルシ滿トミナスル故ニ

補葉計ニテモ腹滿レリツキテ滿空ナリツキル葉計

ナセ腹滿レリツキテ中焦ノ虚本後セヌ故ニ五六日ハ

痛ラザルニ三日ハ正氣ヲ補テ腹モツキナリカチナリ腹滿

カチナリ病者助後ツキテ苦ナ故ニ又通海レタス

カチナリ心正氣者ニ病人ニナリナリテ通海レタス

カチナリ心正氣者ニ病人ニナリナリテ通海レタス

下ニハ一兩日過テハ前ヨリ一倍モ腹滿スルナリ故

活套

一 喉満ハ 喉閉ヨハキ人頸ヲ 佳キ身調サレ時 有風
引日ニサカサレ或ハ氣ヲ 吞忍キ 物ヲ食シヨク下ニ
ツノ身腫ル 物ナリ 大便小便下ラズ 又婦人血ノ通マ
ヨク血積ツキヘテ 腸満トナリナリ 田日ノ氣ノヤラシ食
ヲ消シカチ中宜クメソラキハルナレヘシ

一 先是テ用ヨ行ホ小便下レヘシ 蒼貴川芎 伏中

白朮才今大 五ノ朴 右要メモ用大ノモ用ヨ又

黃連才今大 加用ヨ 右要メモ用大ノモ用ヨ又

一 年ホ下スルワレシ下チハ腫ミテヨク 又一倍ハルシ

一 小便法ハ 伏中 通 黃連 朴 知母 貴 本サ

ナト用 厄ヲ用ヨ

一 痢ヲエルトトリ 熱ヲバサマシ 食ヲ進メ 腫ハ引ヘシ

一 寛中湯 堯 伏中 半方 紫 芍 麦ツク 兵

面 貴 本サ 大黃 宜 右要メモ用

一 清腸凡 紫胡 堯 兵 大黃 貴 宿 白朮

又方 我知 右凡ノ用ヨ 芍 麦ツク 兵

一 又方 牽牛子 大黃 兵 芍 麦ツク 兵

備 香 芥 木香 干姜 九ノ 灯心 煎湯

大 灯心 煎湯



一 丁毒 白木 青皮 貴人 丁毒 草果 陳子
 香粉 其中 陳香 半夏 虎 幾本 名貴 周
 習書 抄本 本 高 丁

10

100

100

100

16

肺
主
咳
喘
門
子
補

四
五
六
七
八
九

淋病 小便下血

海下板中下人



一服滿六七日寒熱病止水腫重者病不如(一)

[illegible]

一 脾胃虛弱補藥用（セウイ、脾胃、溫補）

得中食實滿ノ不食シ胸苦タルシ大寒ノ寒慄寒

重抄ヲ
如テ
煎汁シテ
三箇九
大乙凡
ヲ用ヘ
シ
此
撰

佐助 五
室丹妙
寸寸

月江下江方別最

又ハ垂下 大根 葉菜

大乙凡 宝丹 用 玉丹 三三三

禮部
禮部
禮部
禮部
禮部
禮部
禮部
禮部
禮部
禮部



一、水谷、腹滿、見

十、嘔吐、腸、噎、膈、胃、門

大三焦、中、水谷ノ道路ナリ故、上焦、水谷ヲ諸ナリ
ササニ役者、中焦、上焦ヨリヲサナタル水谷ヲトクシ
ヲナシテ其ハサヤカニクハシテ助ケ血氣トナシテ其花ニ成
合散シ一身ヲウラシヤレサウモノシツノ糖糟ト水汁
トナシ大小腸ニ傳ヘサクルナリ大小腸ノハナリテ糖糟カスハ
肛門ニツケ水汁ハ膀胱ニ送り傳ルナリ此ノ水汁
ナリ合別ノ大小便ニナラルナリ下焦ト云ハ急慢愁思慮
ノ疾ナリ其ハ水谷ノ道ニ由リテ其ノ變生セズナリ
ナリアリ四ノ疾ナリコナシタル水穀ナリハサヤサレウラナリ
ナリ一身ノ表裏ニ流通シヤレナリナリソレハ津液ト申其
津液ニ獨ルエタクナリ三焦ヨリ出テ全身ヲ流注スル元
氣散エルトツレメクルナリ故、氣上焦ニ滯リ胸膈ニツカ
ル時ハカノ津液上焦胸ニツカヘテ痰トナル
然レカト痰ト胸ノ上咽ノツカニツカハル時ハ食ヲ入ル、氣
吐逆ス是ヲ噎ト云噎ハカスルトフムナリカノカスル時ハ
下膈ニアタリツカハル時ハ食ヲ更ラレヌマノレハナリ吐逆
ルナリ是ヲ膈ノ病ト云
カノ疾ニハト胸膈ニツカハル子臣胃ノ疾不カバハレナリ

キタル食量一日半日スレトクモ其マ、有テ大小腸
送り出スルモノ故、朝食ヲ暮、吐し暮食ヲ朝ニ出ス
モテ反胃トハ中ノ心大便カタクハナク、故、嘔吐病ト
肺病ハ肺腸ノ邪大テ退リテ上焦ノ氣ヲ流通シ疾
咳ニ退レ

秋陽湯 無 中 空 柴 白朮 土貝 麥 五
生 姜

大ノ瀉スルヲハアタメテ瀉ス（中焦ノ
在る所ヲ瀉ス）人々、白朮、肉豆、芥子、大ノ瀉スル

嘔腸ハ邪大ナルヨリ、肺腸ニ卷上、氣有テ食ヲツキ
カ（スナリ）及田、正大ナキ、依テ食レサレバ、オサス
送り出サスノアケテ、色モカハラズノ食量退リ、吐逆スル
故、吐逆ハ氣ヲ補イ、邪大ヲススル、苦杏仁、桑葉又其
邪ノ食量ヲイム及田、ハ温菜ヲ用レバ、肉桂、芥子、
血浸テ補物ヲ用テ、無理、邪大ヲススル、イ子、良姜
沉香、白朮、麝ヲ用（カラス）紫物ハモナク、桑葉ハナラ
上白ノスハキ、飯百ノ、色、理、ニテ物ノ清カスルモノ、
各、一、能、ヤ、チ、エ、ル、ト、晩、食、ス、ル、ト、夜、食、カ、無、用

イ、ア、
ナリ、淫妄生、冷り、菓子、宗、火、ア、ム、ハ、カ、ミ、塩、味、リ
ナリ、物、ア、シ、如何、モ、フル、キ、ヨ、リ、テ、ネ、テ、飯、ヲ、バ、ラ、カ
ル、リ、ト、粥、ノ、如、ク、煮、テ、タ、ツ、用、ヨ、食、後、ソ、ロ、ト、ア、ル
キ、テ、食、ヲ、消、セ、レ、ノ、ヨ

活套

一、及、胃、ノ、証、ア、マ、タ、ア、レ、肝、胃、ノ、虚、ミ、三、焦、ノ、虚、イ、リ
氣、不、降、ノ、胸、ニ、ツ、カ、ナ、ク、及、胃、ス、ル、精、液、ノ、ク、ラ、ス、故
味、飯、多、シ、朝、食、シ、タル、飯、ヲ、時、過、テ、吐、逆、シ、胃、氣、弱、
ノ、酒、量、ヲ、煮、テ、吐、ス、ル、病、ナ、リ、心、氣、門、ノ、ナ、リ
ノ、吐、リ、去、リ、ヨ、シ、カ、ミ、ノ、吐、逆、ノ、ナ、リ、心、氣、門、ノ、ナ、リ

一、肝、胃、ヲ、調、ナ、シ、肝、胃、ノ、ナ、リ、子、ノ、降、ナ、シ、用、ヨ
寧、ニ、肝、胃、ヲ、ア、タ、ノ、ヘ、シ、枯、甚、矢、春、セ、ヨ、モ、モ、モ、
一、夕、食、シ、タル、物、ヲ、朝、色、カ、ハ、ラ、ス、ノ、吐、逆、ス、ル、ヲ、及、胃、ノ、
云、ナ、リ、吐、吐、ト、ハ、吐、逆、ハ、セ、ス、ノ、カ、ラ、エ、ツ、キ、ス、ル、計、ナ、リ
必、大、便、カ、ク、ノ、結、ス、ル、ナ、リ

一、以、婦、湯、無

枳、實、紫、胡、白、朮、芍

芎、藭、艾、香、子、

右、要、シ、用、ア、タ、ル、元、氣、ヨ、シ、冷、甚、ヲ、用、シ、ハ、強、白、日、
ナ、リ、乃、ノ、邪、淫、妄、所、物、吐、食、飽、食、生、冷、ノ、菓子、大
ア、タ、レ、リ、塩、味、湯、ノ、コ、キ、物、ケ、レ、シ、又、茶、ヲ、飯、ヲ、ヤ、ハ、ラ、カ、

クニテ食後ハ速ニアリクフモノナリ
白朮

茯苓 木香 宿食 其中ノ下者ハ人々
神曲

黄白皮 沉香 五味子 無火 上清夜
黄芩 神曲

麦蘖 杜仲 石斛 大腹皮 黄芩 羊皮
血ノ方アリハ 四物湯ナト用テヨシ

勅命

一 嘔吐腸鳴及胃ハ何レモ突然也 虫ナリ 疼ナリ 心ヘシ

先玉丹ヲ用テ下ノ宝丹ヲ内熱ヲサセ 虫ヲゴロス

へし 疼ノ人玉丹ヨリ消スルナリ 虫ヲササシ 華ヲ用テ

其故ハ酒ノ醉ナリ 吐逆スル時ハ死時遠ナリ 食物ヲ

一 吐逆ハ冷ナリ 大青ハ虫ナリ 虫ナリ 宝丹

一回 虫ノ吐逆ハ熱ナリ 虫ナリ 宝丹

一 産前産後ノ吐逆ハ冷ナリ 芍薬湯

十一 黄疽門

大黃行 更症 救逆 涌腫 骨痛 ナリ 五通ノ方アリ

痛ノ生スルナリ 腎湿ト熱トノレハサナリ 故ニ湿ヲ退ナリ

黄疽ノ本下ニ去ナリ 其中ノ虚証実証アリ 其ナリ 湯

微寒を患ふ中、水ヲサク脚ヲ小便白ニシルハ

白濁ノ黄濁ナリ

補中除濕湯 白茯苓 人参 黄耆 白朮 芍薬

以上此湯ヲテユルコト療治スヘシ急大便ヲ通スルヲ

サレシ

脾胃熱有テ食ハズ胃弱ノ又濕熱ヲササレ依テ

体面目黄色生シ大便シフリカテ小便黄赤ノ又急

清心除濕湯 色ノ空中 本通中 茵陳 黄芩

身熱也此湯ヲサテ小便ヲ通シ大便ヲ心ヨクスヘシ

もし若腸ニサラススチ腸サハキセハ急証ニ心ヲ速治セ

連日通シ先シバ久小便黄シテ後漸ク身

体面目黄ナリ 酒疸ト心ヲ先 黄 茵ノ又テ表散

本通 茯苓 桑 色ノ熱テ小腸膀胱ノ濕熱ヲ導キ

身体黄色ノヨリ小便又も通スルハ中身濕熱ナリ 酒疸

数症ヲ入心血証サテ黄疸ナリ 牡丹皮 生地黄

寸口脈サフノ鼻ヨリ血ヲ流ツテカチカチナ煩フス

アリタル如ク同ヘリ 腹脹シ渴シ口ノ赤ハツシ

クヨク酒ノ如クナル行ナリテ 黄疸ヲ云者凡テト云フ

身熱黄色ナク全身痛ハ濕熱ナリ 行セヨ

一 豆蔻 入方煎用

一 茵陳 是方用

一 救急丹 救急トテ食ヨリ起ル煩コシ

一 苦茶 竜胆 草葉 右三ツヲ丸ノ善ヲ煎湯

一 一 寄夏ノ通ヲヤブル 活石 白丸 右末ノ大

一 一 細 丸ノ用ヨ

一 一 四物ト内ノ白朮 肉桂 茯苓 薑黄 金ノ末

一 一 人ト 茯苓 白朮 木通 枳壳 耳

一 一 右調合ノ煎ノ用 是ハ皆 熟乾ノサレ末ニ丸ノ湯

一 一 湯ニテモ用 五粒用ヨ

一 一 血ノ方ヨリ 起ラハ牡丹皮 芫花 芍薬

一 一 紅花 石膏 是ホヲ用ヨ必ヨシ

十二 脚氣門

一 一 夫脚氣ノ方ヨリ 又ヨリ 則脚氣ナルヲモアリ

一 一 又ヨリ 痛ヲヤム内ノソロリト 又ヨリテ 脚氣ニナルモアリ

一 一 其証アリテアリ 心下入テ見 今ヨリ 膝ヨリ 足ニ至テ 不仁

或ハ出ノソコ 何カ如シ足ノ凡サキヨリ膝膝ニ至ル
カクハヤウニモツクモアリ 足膝ニ至リ弱クアヨク腫ル
モアリ 足膝ニ至リ痛クツハリ叶ハズモ下リ食ヌ
包サイヤカリ 不食スルモアリ コムラノアタリ 針ニテサシ
ツクヤウニ覺ヘ胸コトアケルモアリ 足膝ヲ動シハク
ラク時々如キツマリ 伸ラヌモアリ 胸サハキヨリ如
アタリノ入ラモイヤル者モアリ 身振シ引クゆスルモアリ
腹痛クメルモアリ 或ハ如キモツクモアリ 或ハ如キモツクモアリ
右如キモツクモアリ 痛症アル間見知りカキモツクモアリ 或ハ如キモツクモアリ
スレハ治シカキモツクモアリ 或ハ如キモツクモアリ 或ハ如キモツクモアリ

一 ツヨク腫テサキハ 毛治マ 牛膝 木瓜 枳實
一 ツヨク痛ハ 木通 番附子 防己 黃連 奴
一 ツヨク引ツルハ 薑黃 木瓜 枳實 肉桂
一 胸ツク不食スルハ 黃連 枳實 無名
一 足膝ニ至リ痛ハ 肉桂 地黃 紅花 虎仁 木瓜 黃芩
一 脈運滿微弱ノ痛所ニハ 薑黃 木瓜 枳實 肉桂
一 脈浮弦滑熱ノ痛所ニハ 防己 黃連 枳實 肉桂
一 汗多 虎 空 枳實 防己 黃連 枳實 肉桂

脚氣の氣ノミハ血ノミナリ
滯ル故病ナリ
紅蒼 牛 肉 圭 七 牛 鹿 仁
虎 直 氣 多 十 六 痛 已 貴 兵 音 實 木 通

取 香 飲 子

如此凡養生ノ形ノ如ク脚氣ハナリ
ヤセ食ヲスルニ又田ノ氣スナリ
補中益氣湯 介 貴 牛 兵 生 善

石北數ノ葉ヲウスリ合テ時ニ吞ビノコ
經絡ヲ俄ニ氣ヲ補テアレハ

家ハ此ノ物ナシ 胃 氣 痛 以 降 治 之 以 經 絡 之 氣 上
治 氣 痛 以 降 治 之 以 經 絡 之 氣 上

治 氣 痛

一 脚氣ト云ハ氣ヲ入テ痛ト云ハ風ヲ引寒ヲカサ血ヲ
水 中 出 入 ノ 脚 氣 冷 々 ナリ 又 足 中 々 ツ 々 ツ カ 二

一 桂 枝 散

兵 本 凡 生 善 聖 胡 克 吉 更 人 今 伏 善

右 藥 用 之

脚 氣 腫 下 浮 血 十 粒 出 ナ ラ ス

五 香 連 翹 湯 用 之

腫痛ノ養生者ト

四物湯内（其我本 木瓜

血動ヤラウレズル

荳根ヲ用

ツヨク重クハ 羌獨 木瓜 防己 木通 黃芩

右用不食食 解酒日ヲ 補ヘシ

頭痛ハ 薑黄 葛根 黃芩 石膏

足膝バシノヒスル 主中 芎 紅花 木瓜 燐 空

薑 西 斗セ 用ヘシ 引ツルモヤムヘシ

脚氣ト云ハ血、道塞ルリ氣ツカエリ故ナリト知ヘシ

大便秘カハ 浮心同ヲ用

一 灸如カハ 痛所ヲヤクヘシ

一下葉ヲ吞ビテ 腫ヲヒカヌヘシ

勅弁

一 脚氣ハ血虚ノ故、氣熱サカシナリ 痛止未スハ心

べレ氣熱ヲサマシテ 痛ヲヤムヘシ 辰砂ニ 活石ニ

一 脚氣ハ血ト氣トノフサナリタル故、痛ニ玉丹ヲ下

室丹ヲ用シハ必治ヌルナリ

カクバ

地骨

百中

今茶

一松葉

以上七ノ新ノ茶ヲ春ヘシ

草玄

一山椒葉

鹿瘡ノ葉

皮角

又カニ

一細葉

是天蓋

以上未ノ茶ア酒ヲ用テリ

西カマ

一黒鯛ノ口の傍

胃本ノ皮ヲ剥テ病人ノ食ニ入ルニ病ス相癒ス
又黒鯛ノ口ノ傍ノ皮ヲ剥テ五兩入テ煮テ
又カマニシテ茶ヲ用テリ

十三淋病

大氣林石林赤淋管林ノ五種ノ分別アリト云凡ハ腎

膀胱ノ病ナリ 腎ハ下焦ノ主ナリ大小便ノカモナリ主ニ

腎ハ大小便ヨリ 膀胱ハ大小便ヨリ

ワレリワタワル水汁ヲラツタリ故ニ腎ハ下焦ノ主ナリ

マリ氣滯レバ小便シテ出サズル故ニ 茎中ヲテ其熱氣

ヲ去テ 痛甚キ時ハ茎中ヲウナリ 熱ハレキハ腎虛ノ

イワレナリレバア痛ハ膀胱ノ熱ニ由ルハナリ

補腎通氣湯 生サキ 白サ 麦門冬 空下 如母

應ニハクシヤ 車前子 車サキ

タサマセ 苳蒿 麦門 空 如母

治セヨ 生サ 應ニハクシヤ 淋ノ痛カハサハ 血ヲ

初ハ小便シテリ 痛シタノ次ニ小便シテ血ヲ 後ハ血ヲ

イノヌ是ハ三焦ノ熱ナリ

四
更

しり夜に満ちて
月を補へし

鬼妹子内ヨシ 賢月補へし
二相ノ茶一丁斗々

一アマリ紅イロヲスハ特ニ
人ノサナリ病ヲ用ヒ

[illegible]

一胸ホバ竹茹 史心 沈香 香附 竹

腎虛足亡一莖力連肉大兔鞭子中使小車

今中赤白
社中
耳
右小便白
物ナトスル

日
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十

卷之八

心腎湯補心蓮子火十使書べし酒ヨイ子陰夏ヲカシ

水基十の千ナリ君を思ふを
慕イタカアスルコト

卷之四

五

一 所謂淋病ハ三焦ノ氣血ノ妄推スルカ故。莖中ニテウレシ

解

苦寒本寒ノ笑ヲ見テ
只三隻ノ執ト心ヲ

黑室丹
細名用子肉煎

へし又三葉丸大乙丸吉

一 赤石 空 紅花 各ホク 紅花大 リワロサニ

一 赤石 一包 紅花石湯丸 何レモヨシ

一 三寶 芭硝 柏圭 石末月ヲ加テ用

一 血淋 治ス 紅花 木通 ヲ加テ用

一 又方 車 庫 庫 加テ末ノサケテ用

一 又ハヘウサウニ 下ヲ入テ煎用妙シ

一 三寶 紅花 粉ノ湯ヲ安度モニエカヘウセテサマ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

紅花大 リワロサニ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

一 一塵 本 末ヲ末ノ酒ヲ用ヨ

大霍乱ハサツリト吐し又ハ治しやスし胃弱ハ九ヲ押塞り食

邪自ラ還クイハサツリ食邪還ケル胃弱ハ九ヲ生シ陰陽并

降ハ氣出ス受衝モイハ九故ニ療治しやスし

乾霍乱ト申ハ中氣ノ正氣盡ク虚スルニ消シカリキ生冷

飲食ヲミナリ食ヲ消サス其マ中氣ニツカヘテ上下并降

ツマツク一微ニ絶ノ吐逆スルツリヲスレバ吐逆セスレヤリカ

ワヤ行ハ温セサハ一大匙ニ燒塩ヲヨリ入タル鹽湯ヨリ吞

セテ身ヲ暖メテ咽ノ穴ヲサシテ心吐逆スル心ヨリサツリト

吐逆ラタズトヤセテ温中既冷湯ノ數ヲ吞セヨ若病勢

急トナリ吐逆スルハハタツキナリ茶ノ中へ燒塩ヲ入テ其上

宛ト云以上如此養生ノ脈ハモカ出来リ吐逆ハ心モ慌

成テヨリ南星白朮ノ數多用ヘカラス

門冬麥門冬湯 費ヤ門冬 茯苓 人参 甘草根 茸

甚ク煩渴セハ 竹茹 茵陳 芍薬フミト如ク

若轉筋甚ノ手足ノ指ヌクハ伸カヘミナラスハ足ノ躁ト

方ノ中ヲ七壯委セヨ

霍乱ノ療治ノ二日三日内ハ食復ヲタデクナスヘカラス

粥ミナリツツル類ヲイカセサツク用ヘシ若シ食ハ

ヤミカヘバ服サイイノカルモノナリ

一

一 伏々人々 白木 赤木 大 亮 茶 主 耳

右要用ヨ

一 香葉散ノ内へ 今大宿人 伏々 主 入 藥 細 用

一 浮スルヤマスハ 平胃シヨレ 脾胃ノ門アリ

一 香葉散ヨレ 常々 朴 白扁豆 芡實 苓

朮 白朮 茯苓 木香 丁香 良薑 耳

加チ 鹽湯 用 妙ナリ

即チ

一 霍乱ノ時 胃カ 冷ニ 依テ 出テ 起スリト 心ヘシメハ

ヤム又吐セサレ 者ハ 華ニテ 吐スヘシ 華ヲ ハナスヘカス

霍乱ハ 冷病ナリ

一 農夫 行人トノ 暑熱ナリ 中寒ノ 末又ハ 黃連 香需

散ヨレ 大名 富人ノ 暑ハ 冷ナリ 大熱ノ 末 木香 凡ナシ

一 アラノ 末ノ 藥 陰テノ 末ノ 湯ニテ 用

一 乾霍乱ニチノ 十 指頭ヲ 血ヲ 出ストアリ

十五 頭痛 氣 風門

平旦 持病ニク 風ヲ 引 寒ニ アタリ 暑ヲ 引

七 八 氣 痛ハ ヤメナリ 邪トナシテ 走ニ 邪トナリナリ

胃逆 頭痛

脈浮 寒ノ項強 乳痛シ 風寒ヲニクム 風寒大腸ノ經ニ

乳痛ナリ 胃ナ 栝活ナ 薑ナ

脈弦細ノ乳痛シミソアタリ 頤ノ痛寒熱往來ノ有ハ小陽

ノ經ノ外邪アル頭痛ナリ 柴 前 薑

脈浮緩ノ長目痛鼻アルキソノ口アリ 豆ノ前ノ方痛ハ

陽明ノ頭痛ナリ 升ナ 白芷 蒼根ナ 薑ナ

右此三陽ノ乳痛ヲ脈ト証トシ見令其經々ノ某ヲ本

トノ經ノ經ノ某ヲ少ヨ

疼ヲ生シ其疼逆上ノ額ノアタリヲカフヲハ逆痛ム疼厥

ノ頭痛ナリ或ハノ心ノ心モナリ 大對ニ

肥痔降氣湯 柴 薑ナ 羊交ナ 空ナ 伏ナ 薑ナ

耳ナ

天クモリ赤面風心乳ヲモク痛シ心ヨカラサル乳風ト

中ナリ氣ヲ順シ血ノ通ヲ通シ疾ヲ運タ風ヲサルハ

加枳 芍藥湯 薑ナ 空ナ 芥ナ 芥ナ 薑ナ

危活ナ 薑ナ

頭痛ノ吐ノ乳 アラハ 芥ナ 生薑 薑ナ 加ナ

胃ノ心アリ 六ナ 薑ナ 薑ナ 加ナ

胃ノ心アリ 六ナ 薑ナ 薑ナ 加ナ

胃ノ心アリ 六ナ 薑ナ 薑ナ 加ナ

胃ノ心アリ 六ナ 薑ナ 薑ナ 加ナ

胃ノ心アリ 六ナ 薑ナ 薑ナ 加ナ

小便黄赤ハ 伏木通ヲ加ヨ 其ノ同 然テモセヨ
酒ヲノミテ風ヲ引コト 双痛セハ 質ノ同 墨ヲクテ
ニタイノハヤノノ 所ヘ五寸アケテ灸スヘシ 鯨會ト云ク

活套

頭痛 煩ハ皆同キハ 心肺ノ煩ニト知ヘシ 年生ハ此病ヲ
モタ子匠風ナリ引ラ寒ニヤフラシ 天日ヲササレ傷 氣痛
其ナリカウベイタミ 心肺ノ脈浮ジハヤク風ライヤヤリ 額
痛ハ天陽ト云 川芎ナ 白芷ナ 蒼々ナ 荷ナ 右藥用
眼ヲキテ鼻ヲナリ 咽カラヤ 胸ヲトリ 大便ヲ人小便ヲ
解ク 其ノ方 白芷ノ子ニハ 年生ハ此病ト云

右藥用

- 一 天クモリ而シ風ナリ 痛夜更ニ煩ハヨキ茶ヲ吞セヨ
- 一 血ヲ補ヘシ四物湯ニ加減ノヨシ
- 一 香ソソノ 防風 羌活 生薑 半夏ナト加ヘテ
- 一 サイク吞セヨ
- 一 葛 石膏 白芷 蒼々 細辛 空 右九ニ一ノ
- 一 明ヨ

頭痛 色ニ在リ赤唐瘡ヲカキタル人 白物ヲ吞セヨ
吞ミ下シトフモ吞スノ 其カ 症ヘアカリニ 頭痛 其月ハ

数日甲し、面ノ色青ク何レヤラハ心ヨリラス、
然レハ次弟

月収ホツクノ後ハトマリ、
通ノ内虚、
手足トキハ然レ

と云レホウサキ、
赤クナル。

肝イタミ夜中、小便シケリ、
肝軟弱ノ次弟

不食ノ胃虚トナル物、
或ハ氣體虚弱ナル人ヌイテ瘧

ヲヤミ不眠ナル者、
タタキヤリ、
胃虚ヲ

表ミテ發散ラシ、
過シ冷サミテ、
裡熱ヲサシ、
過シテ

瘧ハラナリ、
次弟、
ヤセ、
土汗タリ、
アケケミ、
胃虚トナル

或ハ氣虚、
肌肉ヲスキ、
人々モ風寒、
アタレハ、
咳、
氣、
シヤ

二度ハ、
苦シカウ、
子モツモリ、
エハ、
イヨク、
と云、
痰ウセテ終

肺苦シク、
息、
タラシクナリ、
胸中、
痰、
カヘ、
次弟、
肺ア

レ、
ハ、
リト、
コノク、
痰、
多イテ、
後ハ、
血、
マシ、
脈、
滞、
細ノカ

ナシ、
是ハ、
表ヲ、
守護スル、
氣ノ、
虚シ、
タル、
人ヲ、
發散ノ、
サ、
ホ、
テ

表ノ、
元氣ヲ、
ウカシ、
タル、
胃虚ナリ、
ナラ、
ルヲ、
ナシ、
以上、
如、
此

種、
ノ、
イ、
分別アリト、
云、
一、
トモ、
心、
氣、
滯、
テ、
血、
液、
ツキ、
次、
散、
テ

レ、
過、
シ、
テ、
津、
液、
ツキ、
房、
ニ、
カシ、
過、
ノ、
胃、
虚、
シ、
水、
源、
カ、
キ、
皆、
ナ

胃虚ナル、
然、
同、
胃、
虚、
ヲ、
治、
スル、
ハ、
胃、
水、
ヲ、
マシ、
血、
液、
ヲ、
補、
シ

一、
身、
ノ、
カ、
ハ、
キ、
ヲ、
ウ、
ル、
フ、
エ、
テ、
專、
一、
ニ、
肝、
胃、
ヲ、
建、
立、
シ、
發、
食、
ス、
ン、
胃、
シ、
セ、
サ、
カ、
シ、
ノ、
榮、
衛、
ノ、
生、
ス、
ル、
ヲ、
ス、
ル、
一、
第、
一、
ニ、
也

一、
第、
一、
ニ、
也

一、
第、
一、
ニ、
也

心ヲ忘ルノミナ 唐ニ忘ルノ肝要ニ 補
茶 羊羹鳥 等々 要思ムヘシ 此妻ヲ用シハ 相大甚ノ虚
中ニ 熱サカニナリイヨクウレヲイツキテ 夜朝ニカツク
能ハ心工ヘシ

左ノ脈細弦ノ六七部モアラン 補佐益受湯

六六斤ノ圓中 柏中 若シ熱煩甚リハ 柴胡煎

ヲ加ヘシ 煩渴ノ吞 物ヲホシカラハ 知母ヲ加ヨ

又右ノ脈虚弱ノサキ 節段モナク 足手氷ノ如ク冷ハ

活葉益胃湯 圭 半サ斤 水ノ木ノ 正気ニハ

人ノ 延ハナリヨシ 延ハナリヨシ

上唇ノ音ホノ口ノ味ヲ 舌ヲシ面ツレミ 黒ノ子ヲモ

起テモ 行出マエヲ肺ハヤリノ虚流ナハ心治スヘカヲモ

要治 三推肺命 十二推脾命 両方各一寸サツ五ナ

壯ヲ 志門ノ二穴 三百壯ヲ 四卷ノ四穴百ヲ 五月

ノ二穴三百壯ヲ 三ノ穴ハ詳ニ 力ニアリ

以上此方ノ多ク主ノ氣振ノナキ又ヤクノ白ノ漸ク入ナ

後ニ 唇ノ穴 神按丸 虎 息角 正月アノシ

桃仁ノ穴 兵 雷丸ノ穴 下手常ニシ 息角 正月アノシ

大 息角 正月アノシ 息角 正月アノシ

息角 正月アノシ 息角 正月アノシ

息角 正月アノシ 息角 正月アノシ

一 骨癰 津液 骨水ノ尽レル故ニ熱ハ癰血ニ集ル血

虚ノ故ニ熱スルト如シ血ヲマスサテ 黄芩ノ其ケテ

治ルニ 黄芩ニテ用ヘシ血ヲマスサテハ其ノ証ニ

一 走骨癰ノ生スルヲ 種々 同ノアリ一々ニ是ヲ記サス

故ニ其大綱ヲ云々 胃ニ老クヨウス骨癰ト云ハ血ノ道

頰ナリ熱ノ血ヘル故ニ是里ノ瘦ラ數取ルニ休熱ニ

依ラ血カ生スルナリ壯年ノ血ノ道ノ頰ハ後ノ骨癰

ナリ老人ノ血ノ道ハ奇ラテ中凡ナリ心ヘシ

一 室丹ヲ用内熱ヲサマシ血ヲコロスヘシ

血ヲマスサテハ 治石ニ 瘰癧ニ 苦辛ナリナリ

熱ノ血ト心ニテ寒ニテ血ヲコロスサテ用ヘシ

如減大ニル 大乾ニ 苦辛ナリ 富九ナリ 金令子大

マクリニナリ

吉本者ナリ

雄黄ナリ

硫黄ナリ

蛇合ナリ

山茂菰ナリ

華大

雄黄ナリ

硫黄ナリ

蛇合ナリ

一 室丹

コク

骨癰ヲ

治ス

和漢

古今ノ

サテ方

名匠

至當

論ニ

見ル

骨水ノ

虚ト云

サテ

血ノ

心ニ

テ

此

室丹

ヲ

用テ

内熱

ヲ

サマ

シ

下第々入ナル者 室丹ノ妙ヲ知ヘカラス

十七 中風門

夫中風ノ人 半身カナハス 目口ニカミニキツリ 皮膚
物カハレ 牙固ヲホヘス 経絡ニアル中風ノ氣ヲ通シ 血ヲ

ヤシナフ 薬ヲ用ヘシ 汗シ下スベカラス

養榮通氣湯

白朮 白茯苓 黄芩 芍薬

此類ノ薬ヲ二七日モ三七日モ用テ 其次、五日ニ百風

薬ヲ用ヘシ 秦艽 羌活

独活 防风

薤白

サテ時々アル中風ハ手足ナハスリニ用テ 又、大腰浮ナ風

薬ヲ用ヘシ

大腰

浮

ナ

風

薬

ヲ

用

ヘ

シ

ト

ス

ル

者

名地夏ノ薬ヲ二日三日用テ又 養榮通氣湯ヲ用ヘシ

サテ腰ノ入タル中風ハ 色トマリ 物イワヌ 車トラリ 鼻塞

目クククハ 目タレラ 大便秘結

凡此等ノリタルハ 大腰ナリ 去リナカフ 腰虚通ナルハ 治シ

ハスレ 腰虚通ナルハ 腰虚通ナルハ 治シ

漢ノ還テ九氣通セシム

養榮通氣湯

朴

大

黄

芩

芍

薬

薤

白

通

氣

湯

ヲ

用

右ノ薬ノ薬ヲ用テ

一

兩

日

ノ

大

便

通

シ

病

カ

ユ

ル

ナ

養榮通氣湯

ヲ

用

ユ

ヘ

シ

ト

ス

ル

者

ナ

ル

者

ナ

所詮経絡、心は河に血ヲヤシて心氣ヲ通じ、脚は心時ハ

榮散ノ邪ヲサリ、其次ハ血ヲヤシて心氣ヲ通じ、脱を時

非、實ニテ經ヲセン大便漸通ノ其次ハ血ヲヤシて心

氣ヲ通スルナリ、早覺風邪ノ有るヲ見じり風邪ヲ通

テモ血ヲヤシて心氣ヲ通セバ本復シカスレノカ、血ヲ

ヤシテ心氣ヲ通ノモ衣經ヲムナ、風邪ヲサリテ心氣ヲ

ラヌナリ、羊中風ニモ左ナラハ瘀血血虚ト心工血サナラ本

レノ氣ヲサナラヌナリ、桃大紅卷ニ貴ニ伏ニ

赤ニ青ニ、伏ニ青ニ、赤ニ桃大紅卷ニ貴ニ伏ニ

赤ニ青ニ、伏ニ青ニ、赤ニ桃大紅卷ニ貴ニ伏ニ

右ニ左別ニ治レテ、其上諸ノ標証ヲワキマテ加ヘシ

可ナリ

全経絡、心ハテ同口ユカムハ

聴會ハ耳ノスレ、斯ノクホミ口ナリ、聞クイヨクホム

類車ハ耳ノヒク、下指ワアセホトサゲテホウ脊ノホト

地倉ハ口唇、左右ハ四合ワノケテクホノル、允ナリ

已上此ニテ所、左ハナカハ右ナ十一壯マ、冬ス右、ユカムハ

左ノ舌ヲ右ナ壯マ、冬ス右、ユカムハ

左ノ舌ヲ右ナ壯マ、冬ス右、ユカムハ

左ノ舌ヲ右ナ壯マ、冬ス右、ユカムハ

風ハ百病ノ長タリト云テ百ノ病皆風ヨリ起ル云云
風ヲ引カ故ニ或ハ口ニ舌ヲ半足スルナリ亦服ワリとし
スルヘ人ヲシラス古スル物ナリ口ニ半片叶ス液シ出テ
ワラウ不食シ胸ニ無有ニ腹痛ニ脈上部ウキヤスん
トクダレヨリ起ルニホハシ武ヲナシ胸ノ想ニラサシ
風ハ百病ノ長タリト云テ百ノ病皆風ヨリ起ル云云

治法

一 烏茶葉散 散用廿一切ノ中風ハ身ノ内クルナリ
ナリ半足ナラニ焼キ叶ハ散物云フカナワスヨキ
防己大 空ヤ 廿ヤ 廿ヤ 烏茶葉 廿ヤ 逆ナ
半ヤ 右煎用

一 小續命湯 半片シタカワス口ナユカミテ目ヨリ舌
スリ物イハス心ニシタホヘニ服ウキテハヤシ 廿ヤ
汗交ニ 防風大 廿ヤ 廿ヤ 廿ヤ 廿ヤ 廿ヤ
右煎ナラニ上ヘシシテ用

大續命湯 服ウキナヤク物イハス心ニシタホヘニ服ウキテハヤシ 廿ヤ
汗交ニ 防風大 廿ヤ 廿ヤ 廿ヤ 廿ヤ 廿ヤ
右煎ナラニ上ヘシシテ用

一 烏茶葉散 散用廿一切ノ中風ハ身ノ内クルナリ
ナリ半足ナラニ焼キ叶ハ散物云フカナワスヨキ
防己大 空ヤ 廿ヤ 廿ヤ 烏茶葉 廿ヤ 逆ナ
半ヤ 右煎用

血中丸は血より経絡脈有半中風ヲ尤ハ血右ハ氣ナ
カテ治スヘカラス只寒熱ノ痛ト心エテ玉丹ニテ下シ室丹

血ノ道ノ熱ヲサマノ血ヲ生スルハ活る數 辰砂散

一 中風ノ標証急ノ様々ノ一アリハ只室丹ヲ内熱ヲ

一 艾サマセハ諸証自然ナラル

十八 心氣門

夫人人レサル一父母ノ交リ感シ精血相和此ヲタナト成シ

血精ヲ充實トシテ一鼻ヲナルホレヤレナフ役ヲ主ル陽氣

ハ右腎ト感テ一身ヲアタメノマモル役ヲ主ル其陰精陽氣ノ

一 神ト名ヰナラシムルト云ハ神氣上

下ノ升降シ百法ヲ行レテ愛育化ノ主ナリ 一 却ノ主ハ

云ハ右腎ハ氣ヨリ生スト 惡寒寒ト曰 神ハ心ノ用ヘカス

夫ハ神則ハ心ナルト故ニ右人ノ心ヲ育レシム 至室ヲノセ

フタ如キ血ヲ養人ハカク 腹ヲタナラシム 逆上セシ

カサナラシム 逆上セシ

逆上セシ

氣血滯滞、心腹、痛ト云フ、此蓋スルニ、胃、腸、下、故ニ、
一、直ニ、結、シ、氣、逆、シ、ト、云、任、カ、タリ、ナリ、ナリ、他、言、ス、

一、直ニ、心、下、カ、ス、ラ、流、通、シ、ヤ、ス、シ、若、ト、キ、ス、知、ル、ハ、ナ、キ、ナ、リ、治、ス、
一、心、下、陰、入、故、ニ、氣、結、シ、氣、逆、シ、ト、云、任、カ、タリ、ナリ、ナリ、

一、心、下、カ、ス、ラ、流、通、セ、ス、心、中、ニ、氣、結、シ、痛、ト、云、任、カ、タリ、ナリ、
一、心、下、カ、ス、ラ、流、通、セ、ス、心、中、ニ、氣、結、シ、痛、ト、云、任、カ、タリ、ナリ、

一、心、下、カ、ス、ラ、流、通、セ、ス、心、中、ニ、氣、結、シ、痛、ト、云、任、カ、タリ、ナリ、
一、心、下、カ、ス、ラ、流、通、セ、ス、心、中、ニ、氣、結、シ、痛、ト、云、任、カ、タリ、ナリ、

一、心、下、カ、ス、ラ、流、通、セ、ス、心、中、ニ、氣、結、シ、痛、ト、云、任、カ、タリ、ナリ、
一、心、下、カ、ス、ラ、流、通、セ、ス、心、中、ニ、氣、結、シ、痛、ト、云、任、カ、タリ、ナリ、

一、心、下、カ、ス、ラ、流、通、セ、ス、心、中、ニ、氣、結、シ、痛、ト、云、任、カ、タリ、ナリ、
一、心、下、カ、ス、ラ、流、通、セ、ス、心、中、ニ、氣、結、シ、痛、ト、云、任、カ、タリ、ナリ、

一、心、下、カ、ス、ラ、流、通、セ、ス、心、中、ニ、氣、結、シ、痛、ト、云、任、カ、タリ、ナリ、
一、心、下、カ、ス、ラ、流、通、セ、ス、心、中、ニ、氣、結、シ、痛、ト、云、任、カ、タリ、ナリ、

下焦ノ氣脱_レハ志_トリノ_テ未ナリ故ニ五日十日ヲ
 腎氣ヲ補_フテ_レ養_フ生_ト云々_カ加_フテ_レ足_ルヘシ降_ノ氣
 熱_ノ氣通_ル氣_ノ浮_ル氣_ノ生_ラ吞_セ過_セハ陽_中ノ_陰ノ_氣液
 腎_ヲセ_フテ_レ未_ナ未_ナマ_テニ_ル故_ニ骨_ノ癆_トニ_ルフ_一大_ニ入_シ
 表_ヲ守_護ス_ル陽_氣ウ_セテ_レ自_行逆_行出_ル脈_ノ沉_細ナ_リ
 或_ハ主_ニ赤_クナ_リ是_ヲ用_正氣_ノ之_物ハヤ_リタ_スイ
 ク_レ物_ノ忘_レル_毎ウ_セラ_リナ_リヤ_スク_ハ遠_中人_々ナ_リ伏_ナ
 是_ヲ用_{ヘシ}

中焦是_レ脾胃_ノイ_サカ_ノ養_スル_ナキ_故ニ胃_ノ氣_トモ_シリ_ノ
 人_々其_ヲ是_ヲ用_{ヘシ}

下焦ノ氣脱_レハ小便_モリヤ_スク夜_モシ_ケリ夜_ノ夢_シ大便
 セ_タモ_ナカ_タク_タレ_ハス_リハ_一蓮_肉ナ_リ益_知ナ_リ
 其_ヲ是_ヲ用_テ前_陰ノ_氣ヲ_補ニ_五味_子ナ_リ白_木ナ_リ赤_芍ナ_リ
 其_ヲ是_ヲ用_テ後_陰ノ_氣ヲ_補ス

以上表_ノ氣脱_レ正_氣是_レ胃_ノ氣_ノ減_損下_焦ノ_氣脱_ナ
 収_補ス_ル其_ナリ去_ナナ_リ寸_関尺_ノ脈_ノ強_弱ヲ_ワキ_マヘ_ソハ
 其_ヲ是_ヲ用_テ肝_ノ氣_ヲ補_フテ_レ養_フ生_ト云々_カ加_フテ_レ足_ルヘシ降_ノ氣
 熱_ノ氣通_ル氣_ノ浮_ル氣_ノ生_ラ吞_セ過_セハ陽_中ノ_陰ノ_氣液
 腎_ヲセ_フテ_レ未_ナ未_ナマ_テニ_ル故_ニ骨_ノ癆_トニ_ルフ_一大_ニ入_シ

腎_ノ氣_ヲ補_フテ_レ養_フ生_ト云々_カ加_フテ_レ足_ルヘシ降_ノ氣
 熱_ノ氣通_ル氣_ノ浮_ル氣_ノ生_ラ吞_セ過_セハ陽_中ノ_陰ノ_氣液
 腎_ヲセ_フテ_レ未_ナ未_ナマ_テニ_ル故_ニ骨_ノ癆_トニ_ルフ_一大_ニ入_シ

諸症アリ

紫 貴 蒼

脈浮滑ニ人 狂疾トス

亮 無 空

脈沉滑ニ人 狂疾トス

生 貴 白 粉

脈遲滑ニ人 冷疾トス

空 紫 西 香 燈

脈滑数ニ人 熱疾トス

麦 門 括

肺虛ニ津液カクキ疾ニハラハ

半 交 桂

南 星

肺中ニ邪水溢上ノ濕太過ノ疾ニハ

半 交 桂

南 星

白 朮

風邪ニナリ 痰胸中 逆同セハ

南 星 貴

久病虚大上焦ノ津液痰ト化シ血虚ニナリ

半 交 桂

虚人ニ食ニヤセ 中焦痰有テ 胃脈消スラ 疾ニ退リ

茶ヲ用ヘシスセノテ 痰中焦ノウルホニ 成テアルカハ

金セハイヨク 虚ヲツヨクヤセル物

初 年

一 痰飲ト云ニ 身ノ津液カ冷ノレハ 氷ノ如クカタク 熱

ニカタル 飮糖ノ如ク 煎シカタクラル 物ナリ 寒熱ニ 太過

ニカタル 肥人ノ痰ハ 湿ニ冷ニ 瘦人ノ痰ハ 熱ニ 色

ハ 痰ノ 質ニ 人ノ 諸ノ 疾ニ 治スル 妙ナキ アリ 玉 丹 ト 云

玉 丹 ト 云

寒者熱之 中寒ノ症亦大ニ冷ハ大熱ノ症ヲ用テ

一 肺ノ病ニ至ルニ其故ハ熱ラハサシ寒ラハ

一 熱シタル疾ハ 室丹 大乙丸 黄芩ハ中寒冷ニ疾

二十 喘急門

肺ハ五臓ノ上ノ居テ呼吸亦ハノ処タリ清虚ヲ好テ物ノ

性ノ中收然タリ天ノ火邪アル時ハ肺中ノノホル氣多ク

下焦ノ陰虛ノ陰寒小腹ノ下ヨリヲナリ上喘セバ

肺中ノ氣塞リ痰涎テ喘セバ 貴中 杏大 五仁子

持病ノ喘急ニ人起ラサル時ニ鼻テ養生ノ大肺陰ヲ補

正氣ヲタチテ鼻ヲ灸テセヨ

肺ノ病ニ至ルニ其故ハ熱ラハサシ寒ラハ

一 熱シタル疾ハ 室丹 大乙丸 黄芩ハ中寒冷ニ疾

凡門ヲ灸セヨ 第二ノ推ノフシノ下ニ右各

灸肺俞ニ推 凡門ヲ灸セヨ 第二ノ推ノフシノ下ニ右各

一書五合ヲ以テ二穴ニ灸セヨ 壯者ハツ、灸スベシ

三里ヲ亦壯者ニ灸セヨ 逆上ノ火邪ヲモウセ 膈中、禁食ノ

定シテ喘治、ハユセ 壯者ニスルヲラユルス

痛痛ノ喘促已、起リタル時ハ療治アリ 痛ヲラユス 邪氣ヲ

振休、俗ヲ是ヲ逆上ノ風寒ノ邪ニアタルヲハ 灸散セヨ

邪逆上セハ止リ降シ 陰ラクスケヨ

寒邪ヲ逆上セハ 灸散セヨ

逆上セハ 灸散セヨ

陰ラクスケヨ 灸散セヨ

簡安ニ灸テ養生 肺陰ノ正氣ヲタスケ 起リタルトキハ

邪氣ヲ退ルナリ

活套

肺ハ鼻竅ノ上ニ井テ息ノ出入ラスルヲ口ナリ 物ノ汗ヨキ

イラフノミセバムル、イラバイヤル 胸ハ大熱有テ熱スル

イラヤカル 胸ハ熱ナキ時ハ息ノカヨヒスラノトナリモナリ

ノサテ胸ヲ潤シ 痰飲カラサリヌレハ声モナレテ息スナク

思案シ 或ハ

喘急ハ心肺ノ実熱ニ室丹ヲ肉挑ラ去ヘシ病甚クハ
少シ玉丹ヲ用テ下スヘシ若キハ中寒ノ若キ丸若キハ三
黄、芒硝、石膏ヲ加テコレ亦常ニ大乙丸ヲ用
蜂ノ舌ヲ用
通テ吞ヘシ

一 上焦ノ熱有テ目ニ熱有テ胸スケカハ 石膏 寧神

葛根トナトヲ用

亦下焦ノ腎ヲ冷シテ熱ノ疾飲咽、アフラハ

一 室ノ危ニ至マシタマハ 桑白、杏仁、石膏、

白、生耳ト 此病ハ若キ若キ

一 喘急ハ凡ソリヲ用ル肺ハ浮シ若キハ凡証ハナシトス

初奇

一 喘急ハ心肺ノ実熱ニ室丹ヲ肉挑ラ去ヘシ病甚クハ

少シ玉丹ヲ用テ下スヘシ若キハ中寒ノ若キ丸若キハ三

黄、芒硝、石膏ヲ加テコレ亦常ニ大乙丸ヲ用

蜂ノ舌ヲ用
通テ吞ヘシ

通テ吞ヘシ

千葉堂 自製敬定家藏

